

基本モジュール



I-06 商品マスター



商品マスターの役割

商品マスターとは商品の詳細定義をコンピュータ内部に記憶させ、効率的な業務を行う為に必要で最も重要なマスターです。

商品マスターの画面構成は[A:商品基本情報]、[B:実績情報]、[C:単品情報] [D:補助項目]に分離されており、運用状況により画面の使用の有無が変わります。

A:商品基本情報

商品マスター基本情報メンテナンス (Win32 NT)
処理 (F) 画面印刷 (H)

登録

品番	0000001	画像	0000001イメージ
品名1	☆オーブンシャツ		
品名2			
ブランド	001 TOS		
商品分類	100 シャツ(レディース)		
商品形態	0-コルクション	商品区分	0-在庫管理有
展示会	202011-2020年11月展示会		
年度	2016 シーズン		
仕入種別	0-製品	数量値	0-整数
単位	無	単価値	0-整数
上代	54,000	卸値	0
原価	37,006	工賃	1,500
課税区分	0-有		
工場	0035 ☆加藤ヤング株式会社		
商社	0037 株式会社ヤマロク開進		
別途主先	40038 ☆株式会社トスインターナショナル		
FACE			
予定納期	2020/12/29		
受注可否	0-有効	出荷可否	0-有効
備考欄			

通販取扱 項目設定

正式名称: サンフランシスコオープンシャツ カゼット
部門名: B100-シャツ
仕入区分:

20年10月度

更新 (U) 呼出時 (R) 中止 (S) 終了 (X)

商品名1を全角10文字半角20文字以内で入力して下さい。

商品マスター実績情報メンテナンス (Win32 NT)
処理 (F) 画面印刷 (H)

修正

商品実績	当月	累計
販売	数量	金額
入庫実績	60	1,200,000
出庫実績	1	38,400
返品実績	0	0
商品積引	0	0
純出庫	1	38,400
粗利実績	47.9%	18,400
平均売価		51,200

修正したい実績項目をツマグして下さり、白い場所をクリックすると修正情報を表示します。

基本情報 (Y)

商品マスター色サイズ定義メンテナンス (Win32 NT)
処理 (F) 画面印刷 (H)

修正

Color	115	811	811	841	834	合計
IND	01	01	02	02	02	0.151
計	634	630	630	634	631	3,151
011	88	210	210	210	210	1,080
012	40	210	210	210	210	1,080
011	42	210	210	210	211	1,081

Color 色名稱 Code サイズ名稱 呼出時 (R) 基本情報 (Y)

このカラーマップを書き換えて他のデータを上書きする場合は、空白の場所に選択して下さい。次にデータを登録して下さい。

商品補助項目 (Win32 NT)
処理 (F) 画面印刷 (H)

修正

品番	045466	
見出し	素材	税率
1	ポリエステル	0%
2	綿	0%
3		0%
4		0%
5		0%
6		0%
7		0%
8		0%
9		0%
10		0%

新規登録

登録

キャンセル

B:実績情報

C:単品情報

D:補助項目

基本モジュール



商品マスター基本情報メンテナンス画面の右上に「»」ボタンがあり、クリックすることで画面が拡張します。

商品マスター基本情報メンテナンス (Win32 NT)
処理 (F) 画面印刷 (H) ヘルプ (Z)

登録

商品マスター基本情報メンテナンス

16年08月度

品番 0000001 0000001イメージ

商品マスター基本情報メンテナンス (Win32 NT)
処理 (F) 画面印刷 (H)

登録

商品マスター基本情報メンテナンス

20年10月度

品番 0000001 0000001イメージ

品名1 ① オープンシャツ

品名2

ブランド 001 TOS

商品分類 100 シャツ(レディース)

商品形態 0-新規登録

展示会 202011-2020年11月展示会

年度 2016 シーズン

仕入種別 0-製品

単位 無

上代 54,000 銀通 0

原価 37,006 工賃 1,500

課税区分 0-有

工場 0035 ☆加藤ヤング株式会社

商社 0037 株式会社マーロウ開道

別注先 40038 ☆株式会社トスインターナショナル

FACE

予定納期 2020/12/29

受注可否 0-有効

出荷可否 0-有効

備考欄

実績情報 (A) 単品情報 (B)

更新 (U) 呼出時 (R) 中止 (S) 終了 (X)

商品名1を全角10文字半角20文字以内で入力して下さい。

拡張部分

前月在庫数 0

当月入庫数 58

当月在庫品数 0

当月出庫数 122

当月出庫品数 7

現在庫数 -57

仕掛情報

着用数 7,530

裁断数 1,635

入庫数 58

仕掛残 7,472

商 品登録

登録日 2020/11/13

最新入庫日 2020/10/28

最新出庫日 2020/10/29

① 基本情報…商品の基本的な情報

② 品番別在庫集計項目…商品の在庫情報

③ 品番別生産項目…商品の生産情報

④ 商品履歴項目…商品の入出庫の情報

操作方法

処理選択

得意先マスター処理を起動すると自動的に「登録」画面が表示されます。

必要に応じて「登録」・「修正」・「削除」処理をマウスやキーボード操作で選択します。

以下

- I -06-1 [登録]処理は(P.3)で説明します。
- I -06-1_1 [実績情報]処理は(P.6)で説明します。
- I -06-1_2 [単品情報]処理は(P.7)で説明します。
- I -06-1_3 [補助項目]処理は(P.10)で説明します。
- I -06-2 [修正]処理は(P.11)で説明します。
- I -06-3 [削除]処理は(P.12)で説明します。
- I -06-4 [リスト]処理は(P.13)で説明します。

基本モジュール



I-06-1 商品マスター [登録]処理

[登録]処理説明

ここでは商品マスターの登録について説明します。

操作説明

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から
[登録(A)]をマウスでクリック、またはアクセキーを押します。



2. 品番の入力

15桁以内(数値,英文字)で入力します。(※原材料登録方法は表1を参照)

3. SEQの入力

0~9を入力します。初期値は0です。

※SEQとは次の特別商品の場合に使用します。

①カラーバリエーションが10色を超える品番

②同一品番で上代が複数存在する場合

以下、基本情報項目を入力します。各項目については以下のとおりとなります。

項目説明(*は入力が必須の項目です)

表(1)

項目名	属性	入力桁数	説明
品名1	入力	全角10桁	半角全角の混在が可能です。 納品書や元帳上に記載されます。
品名2	入力	全角10桁	半角全角の混在が可能で、販売管理のみに反映されます。 以下の設定で、品名1と共に各元帳に出力できます。また、売上入力、仕入入力において商品名2の修正登録も可能です。 ①商品区分="1"在庫管理無とした場合 ②販売管理環境設定で「常に商品注釈を使用」とした場合
正式名称	入力	全角50桁	品名1や品名2に入りきらない商品名の場合に使用します。
ブランド	入力 選択	半角3桁	ブランド機能が設定されている場合に使用できます。 ブランドコードを入力、またはスペースキーを押して登録済のブランド一覧から選択します。ブランド管理未導入の場合は使用不可です。 未選択も可能です。(注1)
商品分類	入力 選択	半角3桁	商品分類コードを入力、またはスペースキーを押して登録済の商品分類一覧から選択します。 ブランド機能が設定されている場合はブランド毎に商品分類を設定する必要があります。 未選択も可能です。(注1)
*商品形態	選択		「0-コレクション」「1-サンプル」「9-定番」「Z-原材料」「X-商品外」の中から選択します。 「Z-原材料」を選択した場合、「展示会」「受注可否」「出荷可否」の項目と単品情報が使用不可となります。 「X-商品外」を選択した場合、「展示会」「仕入種別」「単位」「商品区分」「数量値」「単価値」「受注可否」「出荷可否」が使用不可となります。

基本モジュール



項目名	属性	入力桁数	説明
* 商品区分	選択		「0-在庫管理有」「1-在庫管理無」から選択します。「0-在庫管理無」は原材料等に使用します。初期値は「0-在庫管理有」です。
* 展示会 (原材料不要項目)	選択		受注管理で設定した展示会コードが選択できます。受注管理未使用の場合は DUMMY と表示されます。初期値には展示会コードの最大値を表示します。※あくまでも商品マスター上のメモとなります。
季節コード	入力 選択	半角 6 桁	001~999、A~Z などが入力でき、任意の設定が可能です。在庫や、実績の集計項目として使用できます。 スペースキーで登録済コードの一覧表示が可能です。
* 仕入種別	選択		「0-製品」「1-生地」「2-工賃」「3-附属」「4-その他」から選択します。区分別日計表での集計項目となります。
* 数量値	選択		「0-整数」「1-小数点第 2 位」から選択します。原材料等で小数点以下の数量を入力する場合に使用します。初期値は「0-整数」です。
* 単価値	選択		「無」「枚」「着」「個」「m」「cm」「mm」から選択、または、半角英数字での入力が可能です。初期値は「無」です。
* 単価値	選択		「0-整数」(円単位)「1-小数点第 2 位」(銭単位)から選択します。初期値は「0-整数」です。
* 部門名	選択		部門マスターで登録したコードを選択します。POS レジ運用時のみ表示されます。
仕入区分	入力	数値 1 桁	未使用項目です。部門名が非表示の場合、非表示となります。
RFID	選択		RFID 導入時のみ使用します。「0-利用しない」「1-利用する」から選択できます。初期値は「0-利用しない」です。
上代	入力	数値 11 桁	商品の定価(元上代)を入力します。カンマは自動的に付きます。
卸値	入力	数値 11 桁	基本的に登録しません(得意先毎卸値が異なるため)。
原価	入力	数値 11 桁	商品の原単価(工賃附属を含む総原単価)を入力します。(注 2)
工賃 (原材料不要項目)	入力	数値 11 桁	縫製工賃等の工程最終工賃単価を入力します。完成品仕入の場合登録不要で、製品入庫入力、生産管理で使用します。
課税区分	選択		消費税の課税を「0-課税」「1-非課税」から選択します。初期値は「0-課税」です。
工場	入力 選択	半角 6 桁	仕入先マスターで登録した工場を選択します。仕入先コードを入力、またはスペースキーを押して登録済の仕入先一覧から選択します。
商社	入力 選択	半角 6 桁	仕入先マスターで登録した商社を選択します。仕入先コードを入力、またはスペースキーを押して登録済の仕入先一覧から選択します。
別注先	入力 選択	半角 6 桁+ 半角 4 桁	得意先マスターで登録した得意先を選択します。得意先コード(支店の場合は支店コードも)を入力、またはスペースキーを押して登録済の得意先一覧から選択します。
FACE			未使用項目です。
予定納期 (原材料不要項目)	入力	数値 8 桁	予定納期を YYYY/MM/DD 形式で入力します。 例: 180508 または 20180508 と入力します。
* 受注可否 (原材料不要項目)	選択		受注の規制を「0-有効」「1-無効」から選択します。初期値は「0-コレクション」「1-サンプル」「9-定番」は「0-有効」、「Z-原材料」「X-商品外」は「1-無効」です。
* 出荷可否 (原材料不要項目)	選択		出荷の規制を「0-有効」「1-無効」から選択します。初期値は「0-コレクション」「1-サンプル」「9-定番」は「0-有効」、「Z-原材料」「X-商品外」は「1-無効」です。
検品実施	選択		検品の実施を「0-する」「1-しない」から選択します。初期値は「0-する」です。
フリー項目 (1~10)	入力 選択	半角 6 桁	フリー項目マスターで登録したフリー項目を選択します。各フリー項目のコードを入力、またはスペースキーを押して登録済のフリー項目を一覧から選択します。

(注 1)未設定のメッセージが表示されますが、そのまま更新することも可能です。

(注 2)原価とは商品の総原単価であり粗利を算出する為の分子です。原価は登録時予定原価であり生産管理等で算出される最終原価とは異なる場合もあります。

基本モジュール



項目名	属性	入力桁数	説明
◆集計項目:出荷更新や月次更新でデータが反映されます。入力も可能ですが、実際の数値と誤差が生じる恐れがあります。			
前月在庫数	表示		月次更新でデータが反映されます。
当月入庫数	表示		出荷更新でデータが反映されます。
当月仕入返品数	表示		出荷更新でデータが反映されます。
当月出庫数	表示		出荷更新でデータが反映されます。
当月出庫返品数	表示		出荷更新でデータが反映されます。
現在庫数	表示		前月在庫から当月出庫返品数を集計して反映されます。
◆仕掛情報:生産管理のデータが反映されます。入力も可能ですが、実際の数値と誤差が生じる恐れがあります。 生産管理未導入の場合は、仕掛メモとして使用も可能です。(原材料不要項目)			
発注数	表示		生産管理のデータが反映されます。
裁断数	表示		生産管理のデータが反映されます。
入庫数	表示		出荷更新でデータが反映されます。
仕掛残	表示		発注数から入庫数を減算した数値となります。
◆商品履歴:マスター登録時の日付や出荷更新のデータが反映されます。入力も可能です。			
登録日	表示		マスター登録された日付が表示されます。変更も可能です。
最新入庫日	表示		出荷更新でデータが反映されます。
最新出庫日	表示		出荷更新でデータが反映されます。

受注管理コレクション商品は時として原価を入力しない場合があります。受注集計時は問題なく集計できますが、出荷の段階で原価を登録していないと商品の粗利については大幅に違算が生じる恐れがあります。

原材料不要項目とは元々製品と原材料は次元が異なるため、原材料の登録時になるべく不要な項目を自動的に飛ばす様プログラムされています。同時に单品情報も不要項目となります。

粗利計算式:粗利額=(販売単価-商品マスターの原価)-商品値引き
※販売単価とは…販売管理売上入力の下代のことを指します。

4. **更新**ボタン

入力したデータを登録します。

5. **デフォルト**ボタン

品番以外の入力データを消去し、入力前に戻します。

6. **中止**ボタン

品番も含めた入力データを消去し、入力前に戻します。

7. **終了**ボタン

終了します。

基本モジュール



I-06-1_1 商品マスター [実績情報]処理

実績情報には商品の誕生から販売終了までの入出庫実績を記録する役割があります。データは出荷更新時に自動で反映されます。そのため手動での変更は、実際の数字と誤差が生じる恐れがあり、かつ変更した履歴が残らないため、この機能での変更は行わないでください。

販売管理の商品実績表はこの画面情報で出力します。

商品マスター実績情報メンテナンス (Win32 NT)

閉じる (X) 画面印刷 (H)

修正

商品マスター実績情報メンテナンス

16年08月度

Model 每の商品実績

商品実績	当月		累計	
	枚数	金額	枚数	金額
入庫実績	60	1,200,000	61	1,200,000
出庫実績	1	38,400	2	102,400
返品実績	0	0	0	0
商品値引	0	0	0	0
純出庫	1	38,400	2	102,400
粗利実績	47.9%	18,400	60.9%	62,400
平均売価		38,400		51,200

修正したい実績項目をクリックして下さい。白い欄が編集できる項目です。終了ボタンをクリックすると基本情報画面に戻ります。

基本情報 (X)

商品マスター基本情報メンテナンス画面に戻ります

基本モジュール

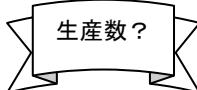


I-06-1_2 商品マスター [单品情報]処理



販売管理単独運用の場合、单品座標は使用しません。

そのため、基本情報画面では单品情報ボタンは表示されません。



生産数とは

受注管理帳票で受注数と比較し過不足を計算する数値項目です。

よってこの帳表が必要ない場合は入力も不要となります。

NBS の受注、出荷、Shop、生産等のシステムを導入した場合、商品に対する色とサイズの情報を設定する必要があります。

NBS の商品マスターではこの色とサイズの情報を 单品情報 と呼びます。

色とサイズの情報は X 軸・Y 軸のどちらの座標軸でも可能ですが、運用途中での座標軸の変更はできません。座標軸設定は運用前の仕様確認にて導入先の運用に合わせて設定します。

X 軸、Y 軸の組み合わせは、下記の 4 通りになります。

	<u>X 軸</u>	<u>Y 軸</u>
1	色	none
2	色	サイズ
3	サイズ	色
4	None	None

X 軸 最大10列

Y 軸 最大999行

ここでの单品情報説明は座標軸 X 軸を色、Y 軸をサイズとして説明します。

基本モジュール



3. 色・サイズの変更について

X 軸・Y 軸とも登録時点での変更削除は自由にできます。

しかし受注入力、出荷入力などを行った場合、データが存在しているため、下記の手順で変更する必要が
あります。

①変更可能な事項

A. 出荷入力、入荷入力、生産入庫入力(買掛転送済み)、出荷明細、入荷明細、SHOP 明細の出荷更新(月末
在庫に反映)を全く運用していない場合、自由に変更が可能です。

B. すでに受注入力、SHOP 売上入力、出荷管理実棚入力、生産発注入力を行った場合で、数量を新たに入
力したい場合は、それぞれの処理でその明細を一旦削除して再入力するのが基本です。

しかし、下記のケースでは削除はできません。

ア) 受注明細→出荷管理で受注配分を行った

イ) SHOP 明細→出荷管理で出荷更新を行った

ウ) 過去の入荷出荷履歴が存在する

エ) 仕掛情報にすでに入庫情報が入っている

オ) 出荷の実棚明細→出荷管理の店別棚卸更新を行った

このケースの場合、赤黒処理にてシステム内でも調整は可能ですが、明細が他のシステムに反映された後
では変更はできません。

C. すでに受注入力を行った場合や、過去の入出荷履歴が存在していて数量をそのまま引き継いでよい場合
は色・サイズの定義の変更を行います。

上記の操作で更新ボタンを押した場合、商品の単品設定を元に戻すことは不可能です。

変更する場合には充分な注意が必要となります。

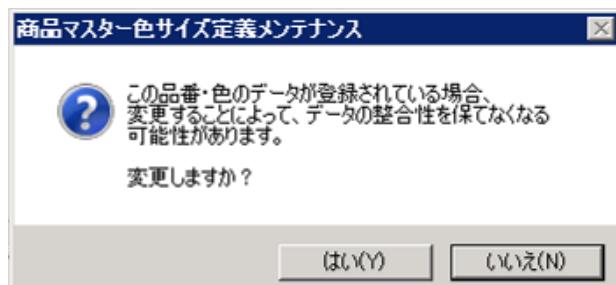
②変更不可能な事項

A. すでに出荷入力、入荷入力、生産発注情報に入庫情報が存在する場合や、出荷明細、入荷明細、SHOP
明細の出荷更新(月末在庫に反映)を運用していた場合。

→色サイズ設定が各テーブルに浸透している事で全体を修正する必要があります。

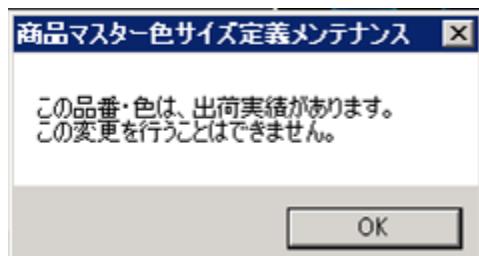
B. 受注入力以外は運用していないが X 軸と Y 軸を入れ替えたい場合。

色やサイズを変更した場合、次のメッセージが表示されます。



修正が可能な場合は修正した色やサイズに変更されます。

修正が不可能な場合は次のメッセージが表示され、
変更前に色やサイズに戻ります。





I-06-1_3 商品マスター [補助項目]処理

補助項目には素材や組成のデータを入力します。生産管理が導入されている場合は、この機能のボタンは表示されません。補助項目に登録されたデータはカタログ等に反映されます。



操作説明

- 補助項目画面の表示
品番が指定された状態で基本情報画面上の補助項目(D)ボタンを押して画面を表示します。
- 各項目へ必要情報を入力
10行まで入力できます。各項目の説明は以下のとおりです。

項目名	属性	入力桁数	説明
品番	表示		登録中、もしくは修正中の選択されている品番です。
見出し	入力	全角3桁	メモ書き
素材	入力	全角11桁	素材を入力します。ツールの「カタログ作成処理」に反映されます
混率	入力	数値 半角5桁	混率を入力します。ツールの「カタログ作成処理」に反映されます
原産国	入力	全角7ヶタ	メモ書き

- 補助項目削除ボタン**
すでに登録されている補助項目の内容を削除します。
※削除後、補助項目の登録を行う場合は、一度キャンセルボタンを押して、再度基本情報画面から補助項目(D)ボタンを押して、再度画面を開く必要があります。
- 登録ボタン**
入力したデータを登録する場合に押します。

基本モジュール



I -06-2 商品マスター [修正]処理

[修正]処理説明

ここでは商品マスターの修正について説明します。

★ 商品コードは変更不可能です！！

操作説明

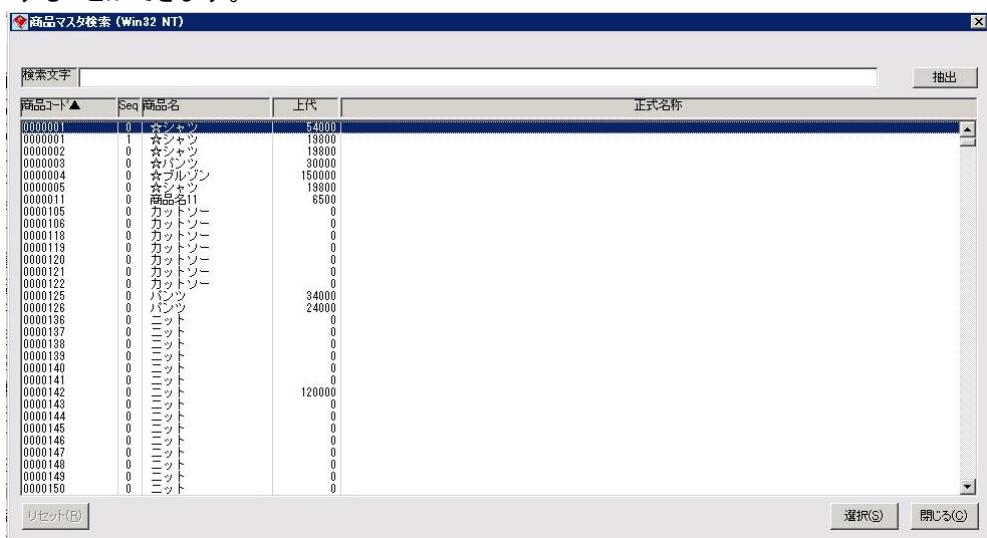
1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から
[修正(E)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



2. 品番の選択

登録されている内容から検索する場合は品番を入力するか、品番欄で[スペースキー]を押して表示された一覧からマウスまたは矢印キーで選択し、[Enter]キーを押すか、ダブルクリックで決定します。
また、検索文字欄に品番や商品名、上代、正式名称の一部を入力し、抽出ボタンを押すことで、候補を抽出することができます。



3. 修正する項目をマウスでクリックし入力します。

4. 更新ボタン

修正したデータを登録します。

5. 呼出時ボタン

品番以外の入力データを消去し、入力前に戻します。

6. 中止ボタン

品番も含めた入力データを消去し、入力前に戻します。

7. 終了ボタン

終了します。



I -06-3 商品マスター [削除]処理

[削除]処理説明

ここでは商品マスターの削除について説明します。

以下の状況がある場合、削除は原則的に不可能となります。

ア)出荷/入荷明細、販売売上/仕入明細、得意先/仕入先元帳、発注情報が存在する場合

イ)店別在庫(棚マスター)が存在する場合

ア)に該当が無い場合は、イ)の条件で警告表示後に削除は可能となります。手順は以下のとおりです。

操作説明

1. 処理区分の選択

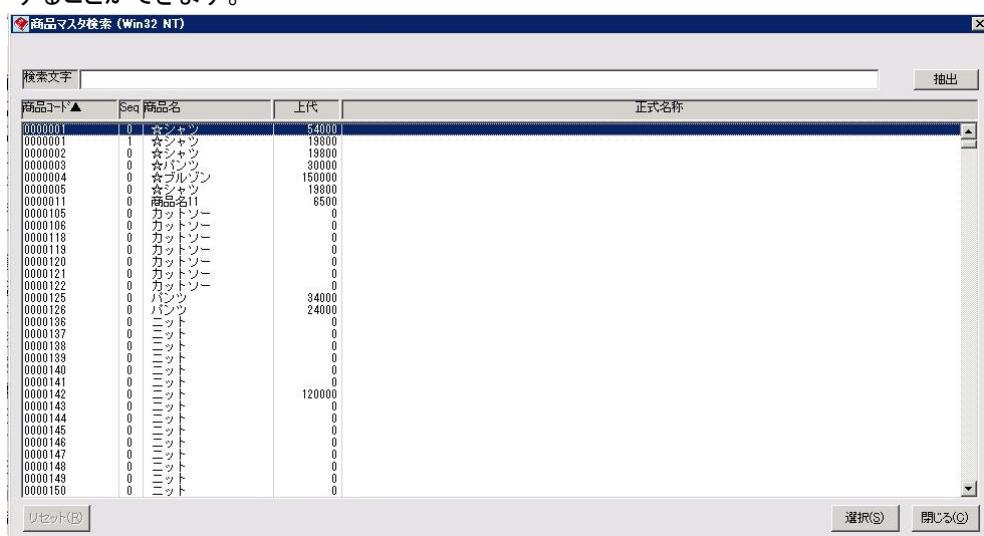
初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から
[削除(D)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



2. 品番の選択

登録されている内容から検索する場合は品番を入力するか、品番欄で[スペース]キーを押して表示された一覧からマウスまたは矢印キーで選択し、[Enter]キーを押すか、ダブルクリックで決定します。

また、検索文字欄に品番や商品名、上代、正式名称の一部を入力し、抽出ボタンを押すことで、候補を抽出することができます。



3. [更新]ボタン

表示している商品マスターを削除します。

4. [中止]ボタン

品番も含めた入力データを消去し、入力前に戻します。

5. [終了]ボタン

終了します。

基本モジュール



I-06-4 商品マスター [リスト]処理

[リスト]処理説明

ここでは商品マスターのリストについて説明します。

操作説明

1. 処理区分の選択

左上の[処理(F)]から[リスト(L)]にマウスカーソルを乗せ、表示された以下の2項目から選択します。

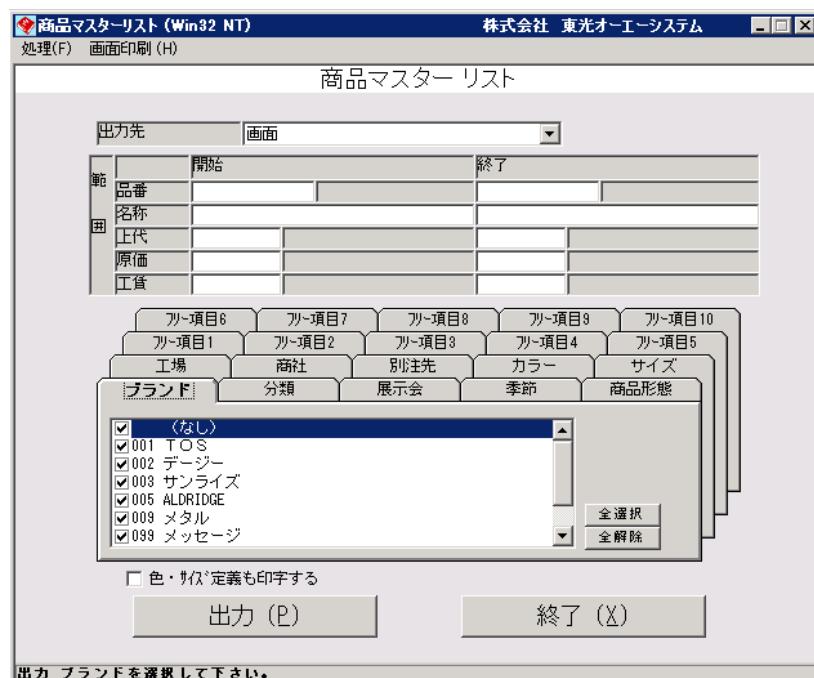
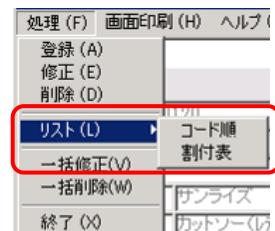
①コード表

②割付表

① マスターリスト

商品マスターを一覧形式で出力します。

- ・出力先:画面上か印刷かを選択します。
- ・範囲抽出:品番、上代、原価、混珍の開始と終了を指定しての抽出が可能です。
- ・個別抽出:ブランド、分類、商品形態、フリー項目等の項目を個別に指定できます。
- ・色・サイズ定義も印字する:色やサイズのデータも出力します。



②割付表

品番、分類名、名称上代、原価を一覧表として出力できます。